



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月30日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 名古屋市東区東桜1-10-19

氏 名 株式会社大林組名古屋支店

常務執行役員支店長 山本 裕一

電話番号 052-961-5203

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社大林組
事 業 場 の 所 在 地	愛知県豊田市土橋町4-10
事 業 の 種 類	06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2,226 t	全 処 理 委 託 量	2,226 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	945 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,026 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類: 汚 泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

自ら中間処理
した量

自ら中間処理した
後の残さ量

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

④のうち熱回収
を行った量

自ら中間処理によ
り減量した量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

項目	実績値
①排出量	6
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	3
⑫再生利用業者への処理 委託量	4
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

12

自ら直接
再生利用した量

②

0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

12

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

12

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

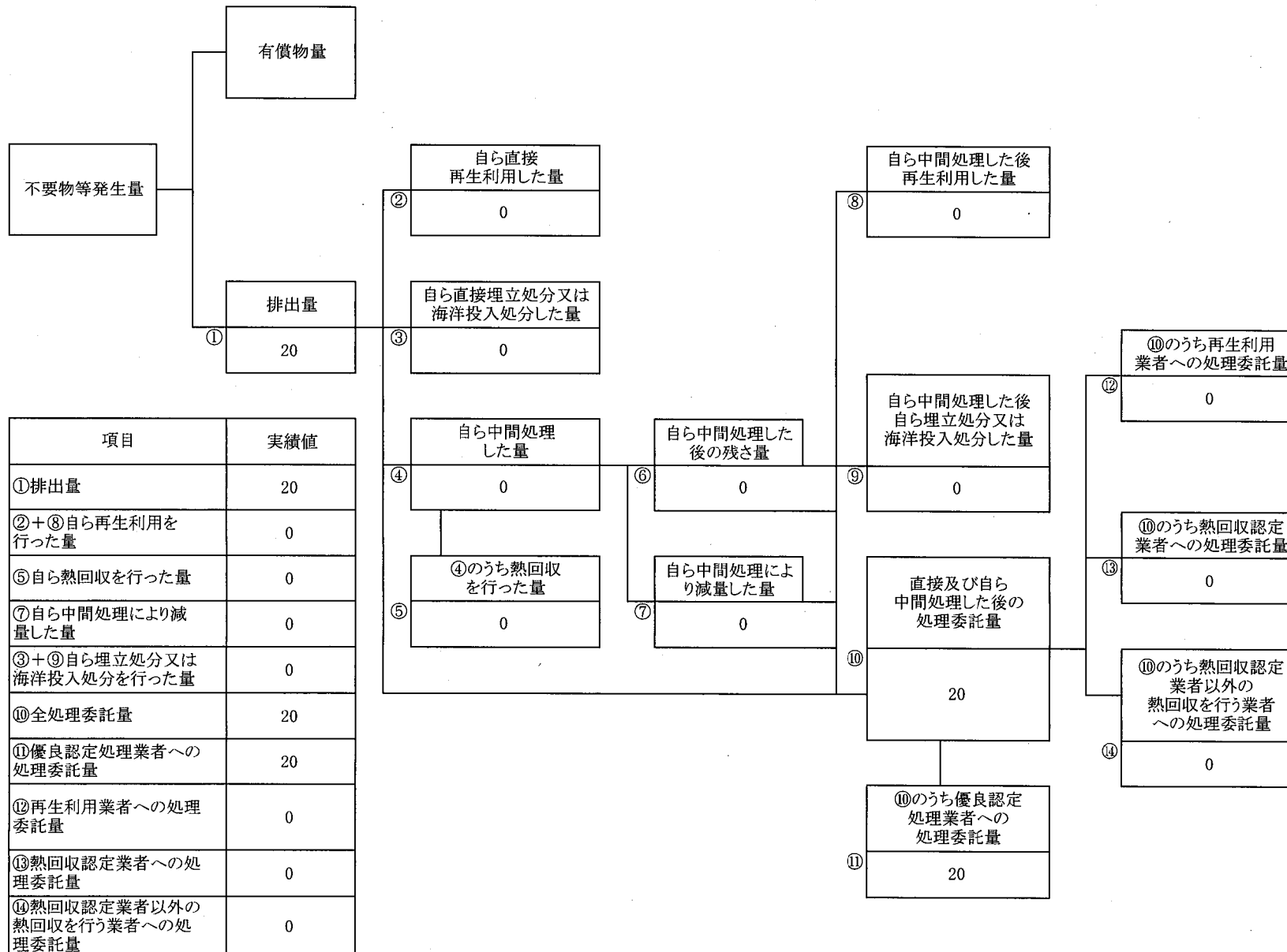
0

項目	実績値
①排出量	12
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有廃棄物)

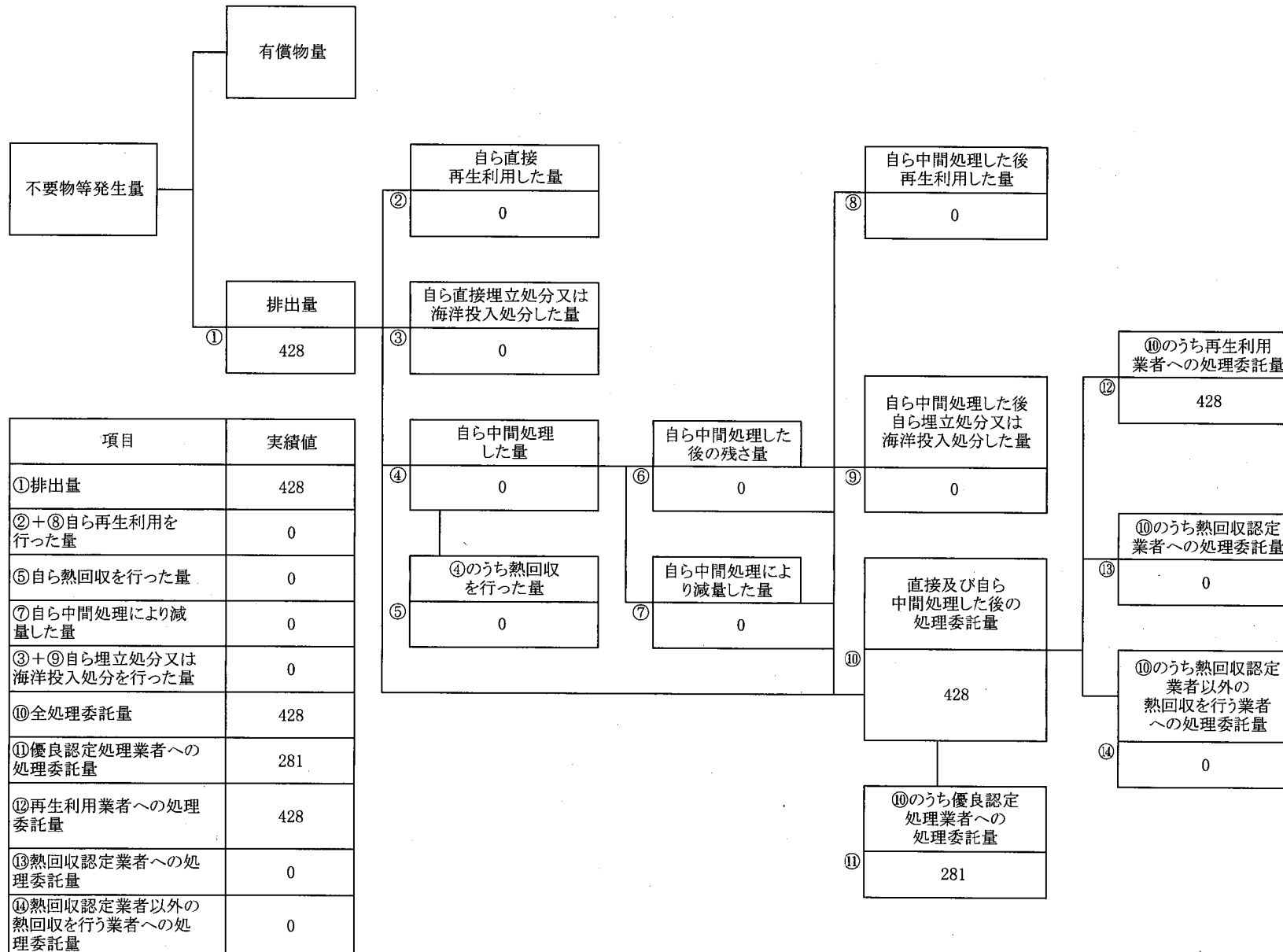


(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物(管理型))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート塊)

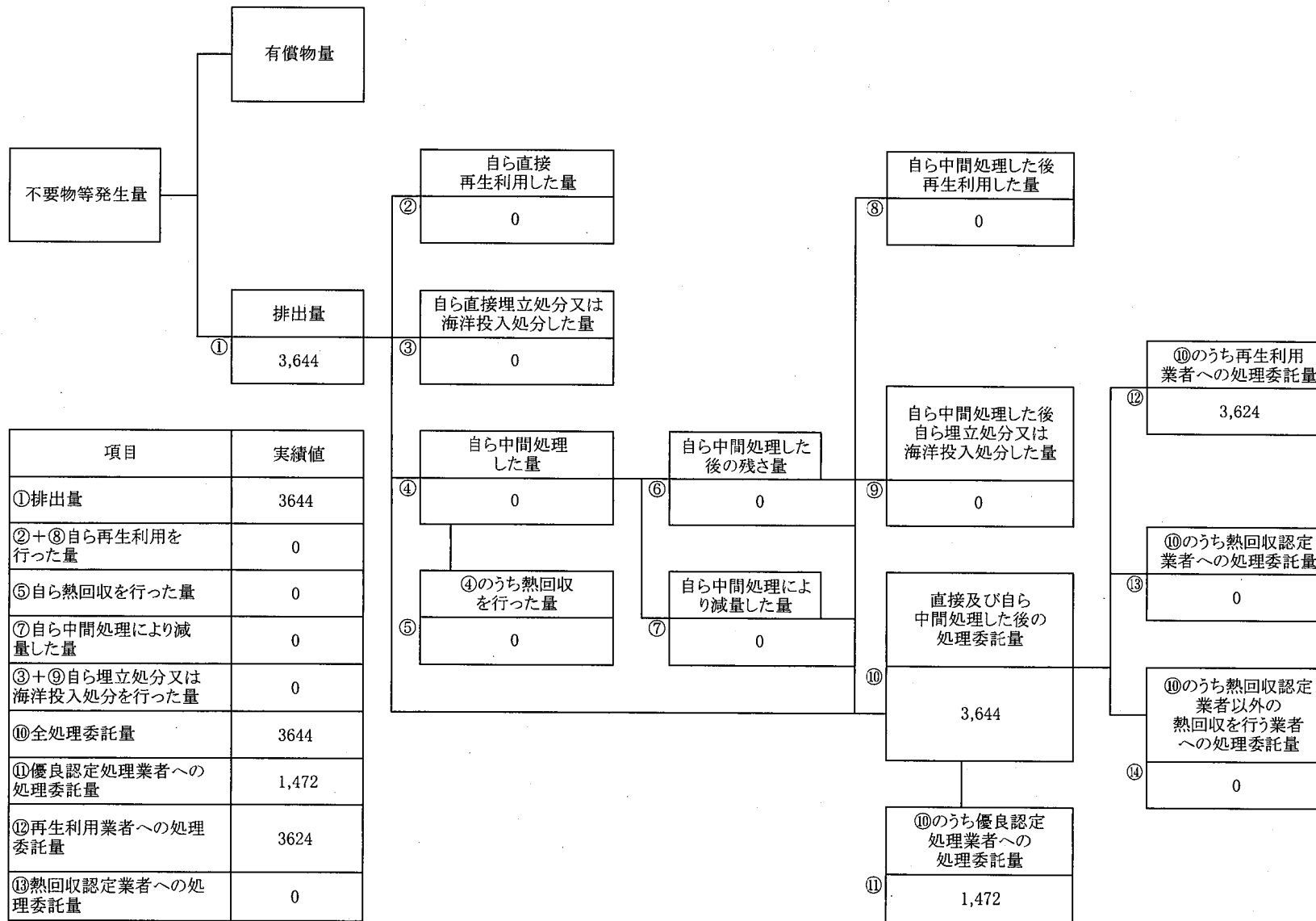


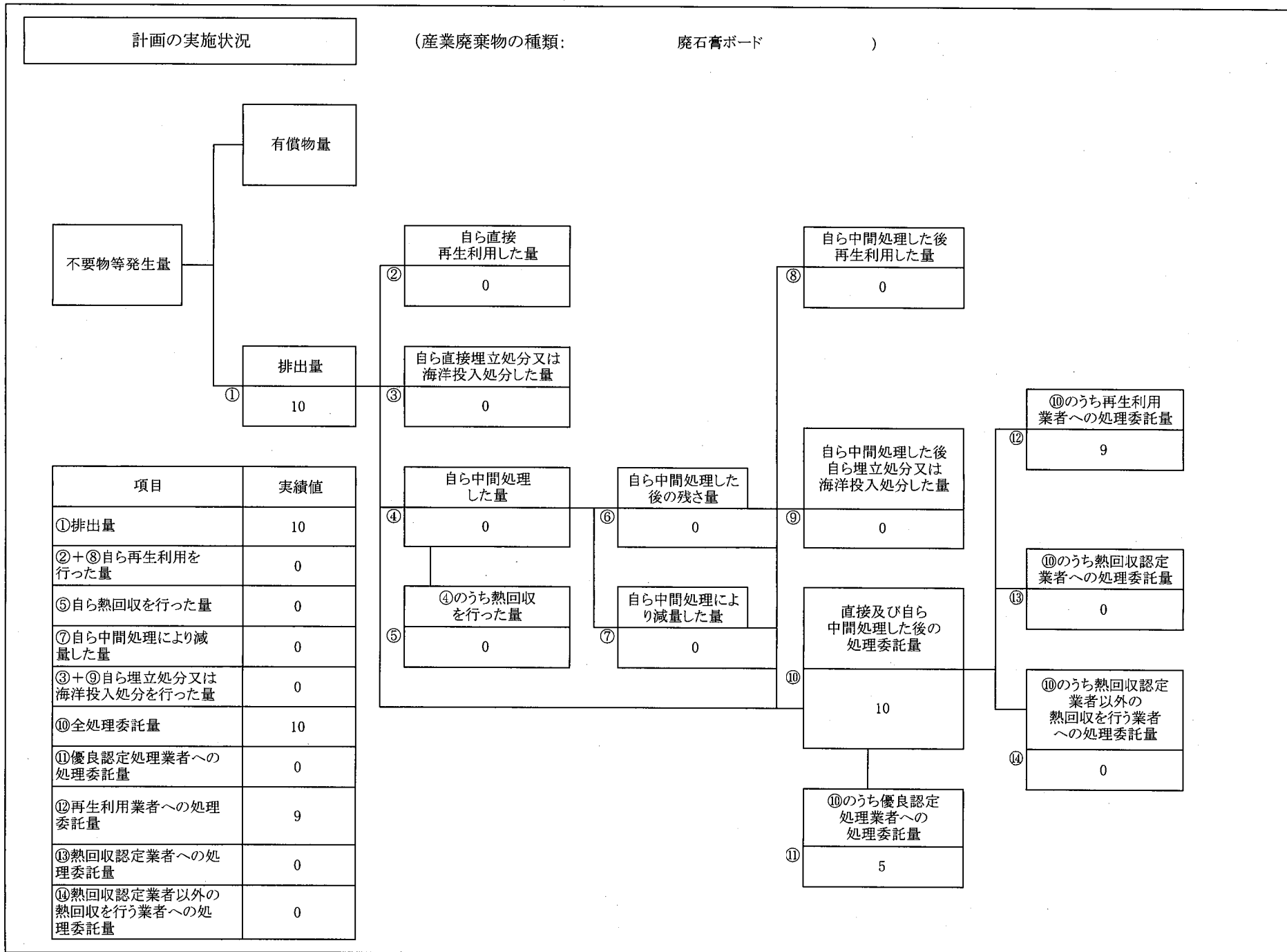
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリート塊

)



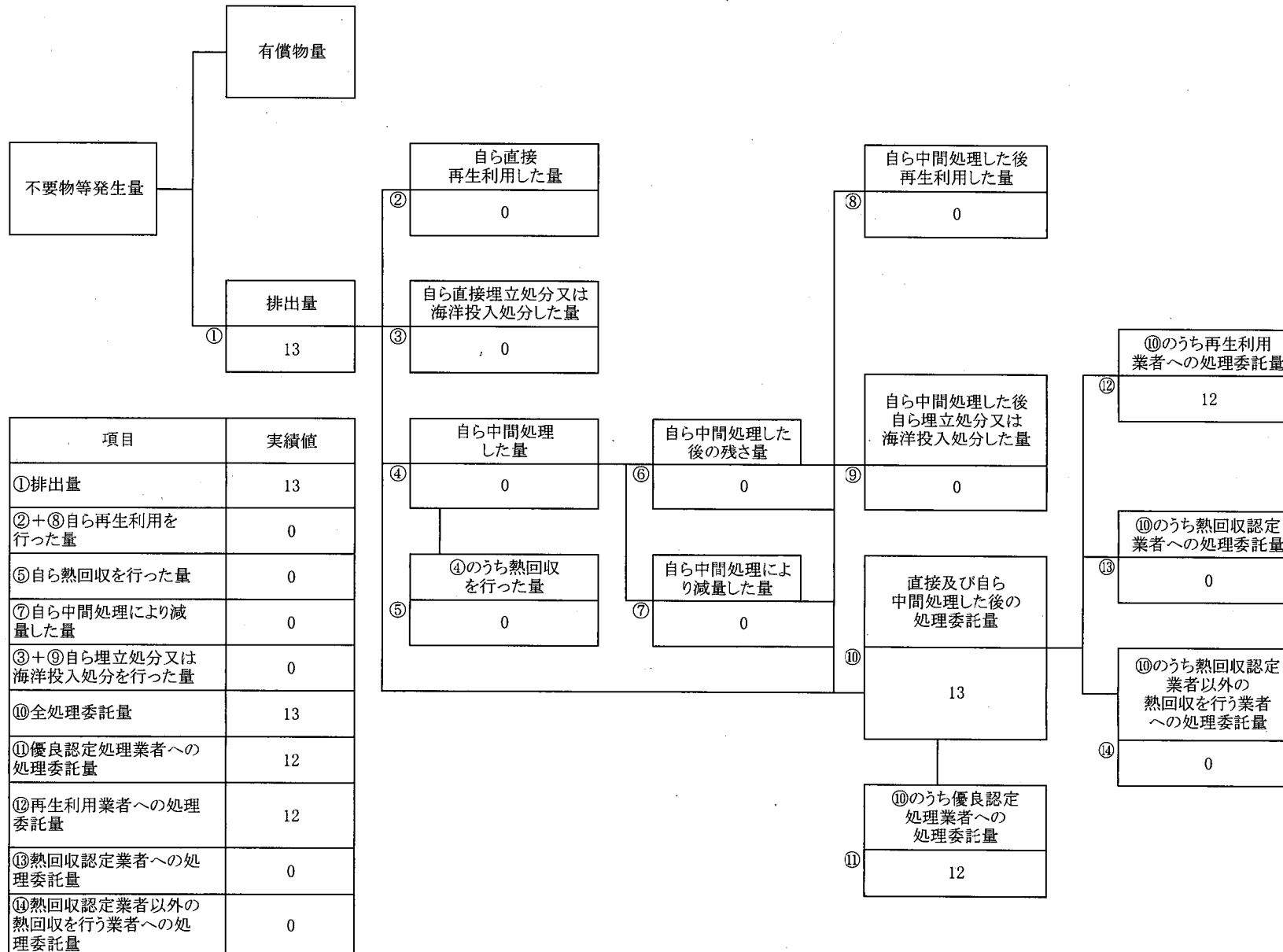


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

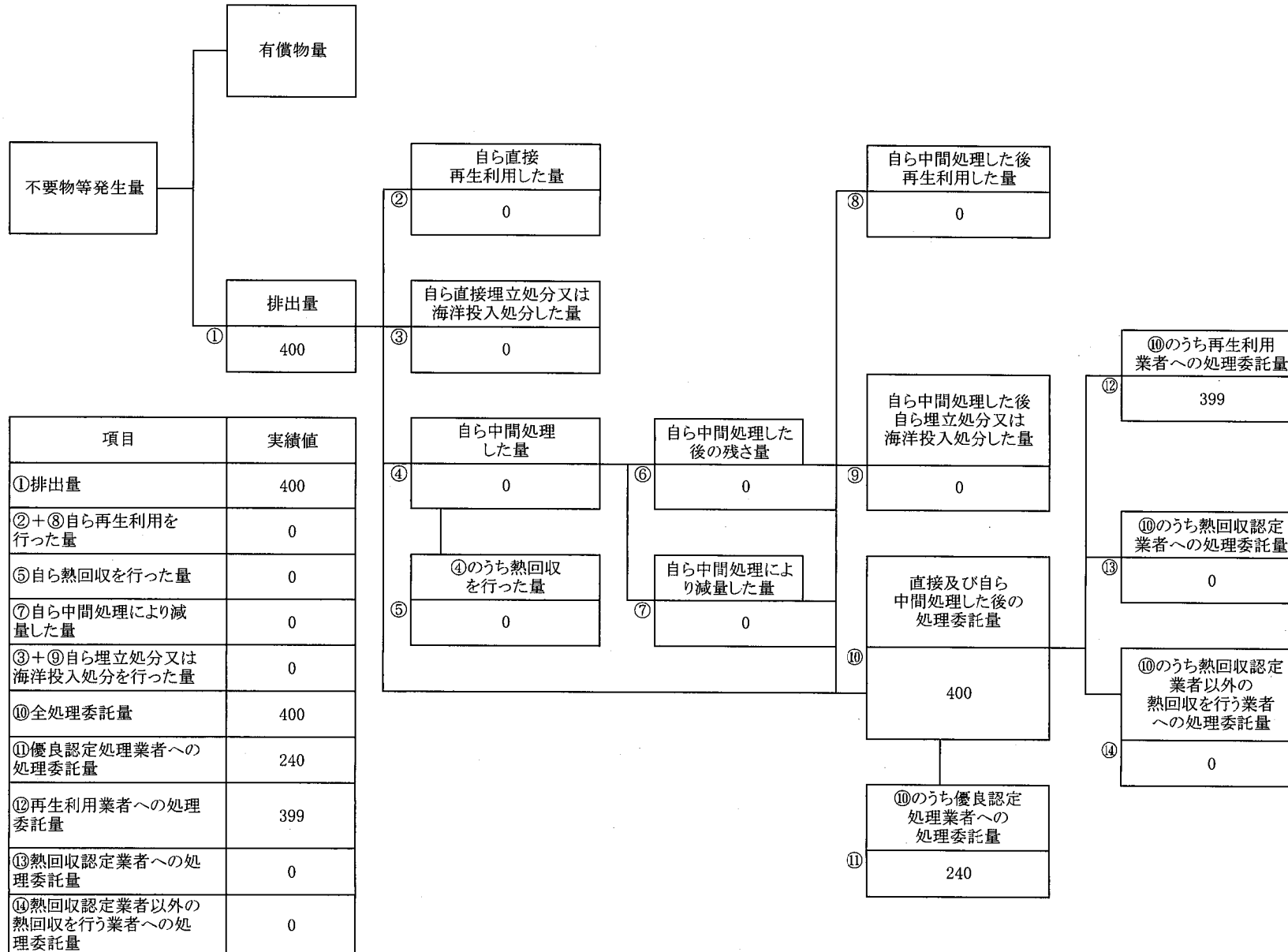
ガラス・陶磁器くず

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

0

自ら中間処理
した量

0

自ら中間処理した
後の残さ量

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

4

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

4

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社大林組名古屋支店	従業員数（人）	827 人	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	建築工事部環境課 丹羽美郎	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	255,544万円 （豊田市内）	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	(TEL)052-961-5135 (FAX)052-51-4347 (E-mail)niwa.yoshiro@obayashi.co.jp	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		汚泥	廃プラスチック類	木くず	石綿含有廃棄物	紙くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 25 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	6,392	6	12	20	0
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	6,392	6	12	20	0
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	6,392	6	12	20	0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	6,392	6	12	20	0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	6,392	6	12	20	0
	処理方法	B	A, C, 選別	C, 選別	A・B・C・D E（ ）	C, 選別
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	640	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	5,534	4	12	0	0
	再生利用用途	D	A, B	A, B, C	A・B・C・D E（ ）	A, B
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	20	2	0	20	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	5,534	4	12	0	0
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	640	0	0	0	0
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	20	2	0	20	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破砕・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社大林組名古屋支店	従業員数(人)	827 人	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	建築工事事務環境課 丹羽美郎	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	255,544万円 (豊田市内)	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(TEL)052-961-5135 (FAX)052-51-4347 (E-mail)niwa.yoshiro@obayashi.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		混合廃棄物(管理型)	アスファルト・コンクリート塊	コンクリート塊	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (25 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	128	428	3,644	10	13
	b 有償物量(t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	128	428	3,644	10	13
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残量(t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	128	428	3,644	10	13
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	128	428	3,644	10	13
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	128	428	3,644	10	13
	処理方法	A, C, 選別	C, 選別	C, 選別	C	C, 選別
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	8	0	20	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	84	428	3,624	9	12
	再生利用用途	A, D	A, D	A, D	A, D	A, D
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	36	0	0	1	2
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	84	428	3,624	9	12
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	8	0	20	0	0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	36	0	0	1	2

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社大林組名古屋支店	従業員数 (人)	827 人	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	建築工事部環境課 丹羽美郎	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	255,544万円 (豊田市内)	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(TEL) 052-961-5135 (FAX) 052-51-4347 (E-mail) niwa.yoshiro@obayashi.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		がれき類	金属くず			
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (25 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	400	4			
	b 有償物量 (t/年)	0	0			
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	400	4			
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0			
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0			
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0	0			
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0			
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	400	4			
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	400	4			
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	400	4			
	処理方法	C, 選別	C, 選別	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0			
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	399	4			
	再生利用用途	A, D	A	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	1	0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	399	4			
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0			
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	1	0			

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。